

大勢の人出でにぎわった「山賊まつり」(10月6日～8日)



決算特別委員会

18年度歳出総額は162億円

決算特別委員会（田村孝委員長、古川津好副委員長）は、9月20日から26日まで開催しました。この特別委員会は、議長を除く市議会議員全員で構成。平成17年9月に合併した本市が初めて通年予算を執行した平成18年度一般会計、特別会計8会計および企業会計2会計を審議し、いずれも原案どおり認定することに決まりました。

歳入全般

問 市税滞納に対して、差し押さえるの基準は何か。

答 法的には、督促状発送の10日後には可能である。

問 差し押さえた物に時効はあるのか。

答 時効はない。

問 猟銃や弾丸の差し押さえは、法的に問題ないか。

答 警察と連絡を取り合って、法的にも問題なくやっている。

民生費

問 敬老会に使用した弁当の発注に、無理な計画があったのではないか。

答 弁当について大変不手際があった。発注については内部検討し、来年に向けて方法を考えていきたい。

問 老人介護施設の待機者数の状況は。

答 3月現在、老人福祉施設で306人、介護老人保健施設で86人の方が待機している。

問 低所得者の入所に最低必要な額はどの程度か。

答 「むらさき苑」利用の場合、利用料に居住費、食

費を加えると、要介護3の方で4万6800円、要介護5の方で8万7300円の費用が必要である。

問 生活支援ハウスの増床計画を検討しているか。

答 市内4カ所、合計で30人以上が利用できる小規模多機能施設を計画し、業者を募集中である。

衛生費

問 八幡平市公共衛生対策事業補助金150万円のうち、120万円は支部に交付している。連合会としての活動が無いのでは。

答 事業の相違などで一気に統合できなかった。今後は、支部と連合会統一化の方向で検討する。

問 予防検診は無料化で受診者も増えているが、なぜ安代地区の予防検診率が西根地区の倍以上なのか。

答 旧安代町は、個人負担を自治体で持つという歴史もあるからではないか。

問 婦人検診が隔年受診である理由は。

答 現在のマンモグラフィは検診精度が高く、国の指導で2年に1回とした。



貸工場（写真奥）の隣では、道の駅にしねの駐車場を拡幅する工事が行われています

問 第三セクター経営の方向を示すべきである。
答 合併統合し、スケールメリットを大きくして多角経営の方向で検討している。貸工場の現状は。

商工費

問 輸入飼料が高騰しているが分析と対策を伺う。
答 飼料米への転換など、制度を上手に使い、全農など流通機関の体制が講じられるよう取り組んでいる。

農林水産業費

問 国有地借り上げ料300万円とあるが、買い取る考えはないか。
答 七時雨牧野の分であり、今後も継続して借りるが、将来的には検討していく。

問 輸入飼料が高騰しているが分析と対策を伺う。
答 飼料米への転換など、制度を上手に使い、全農など流通機関の体制が講じられるよう取り組んでいる。

平成18年度 各会計の決算状況（金額は、1万円未満を四捨五入）

会 計 名		収 入 額	支 出 額
一般会計		167億2,083万円	162億3,170万円
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	33億7,871万円	32億9,534万円
	老人保健	32億8,823万円	31億5,707万円
	公共下水道事業	9億 762万円	8億5,259万円
	農業集落排水事業	11億1,225万円	10億8,753万円
	浄化槽事業	8,644万円	8,038万円
	国民健康保険（診療施設勘定）	3億 295万円	2億9,018万円
	索道事業	1,863万円	1,608万円
企業会計	公共用地先行取得事業	412万円	412万円
	西根病院事業	収益的収支	6億5,393万円
		資本的収支	1,513万円
	水道事業	収益的収支	5億3,252万円
		資本的収支	1億4,497万円

問 大更西線の17年工事個所で陥没があった。原因と責任はどこにあるか。
答 責任は、局部的な谷地

土木費

答 3社入居、雇用は35人である。企業誘致に関しては、25社1650人である。

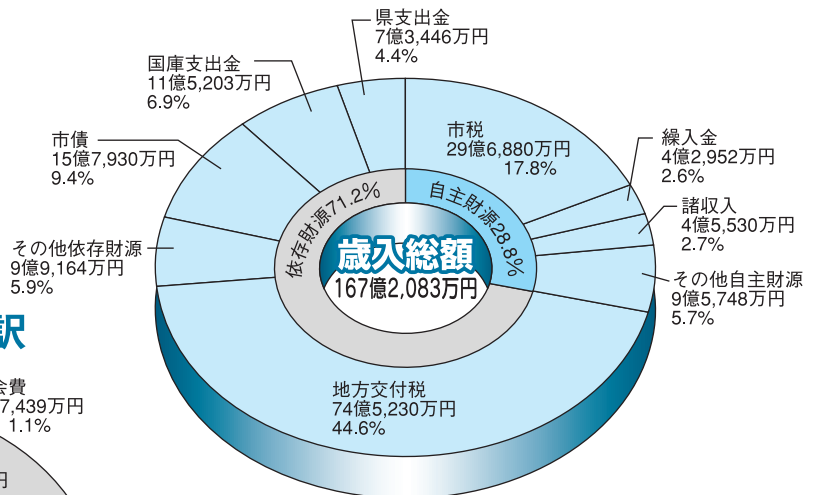
問 道路用地を購入する際、安代地区と他地区に差があり、不平等ではないか。
答 新規買収では統一単価で実施した部分もある。今後、不平等が生じない在り方を考えていく。

を予測できなかった市にある。約200万円の工事費で本年度工事をした。道路用地を購入する

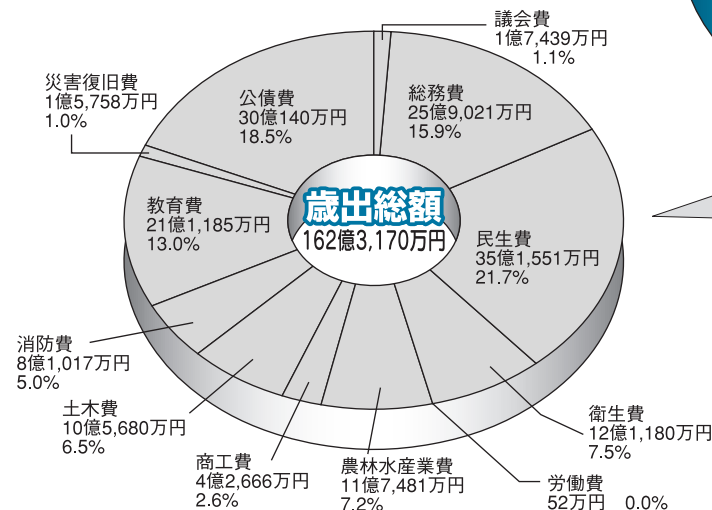
◎歳入のポイント

旧3町村分を加えた17年度決算と比較すると、市税が1,694万円、財政調整基金などからの繰入金が7億7,243万円減り、地方交付税は2億3,559万円増加。総額では1億8,621万円減少しました。（財政調整基金残高は13億9,681万円で、4億6,178万円増加しました）

平成18年度一般会計歳入内訳



平成18年度一般会計歳出内訳



◎歳出のポイント

歳入と同様に17年度決算額と比較すると、議会費が9,884万円、総務費が8億4,427万円、衛生費が1億4,598万円、土木費が1億3,645万円、公債費が1億1,310万円それぞれ減少。民生費は4億1,956万円、教育費は4億2,962万円増えています。（性質別では、人件費が2億186万円減少しました）



開閉式屋根を備える安代小学校プール

教育費

問 安代小学校プールは開閉式屋根で、冬は積雪で壊れる恐れがあるため開いた状態にしているようだが、設計時に十分検討したか。

答 旧安代町で検討したが、当初期待したものには残念ながら得なかった。

問 ジャンプスキーのジュニア育成のため、教員などの指導者の体制は。

答 県内では指導できる教

予備費

問 員が少ない状況である。市指定無形民俗文化財の長旛旗が旧町村のままである。統一できないか。

答 1旗十数万円することから、今後検討したい。

問 9月17日の大雨で浸水した家屋の消毒は万全か。

答 翌日から薬剤散布をし、床下浸水についても必要な箇所には対応した。

問 水害で発生したゴミの

処理は。

答 被災者が分かりやすい場所へ出し、業者が収集することにしている。

問 被災者へ見舞金などの支援は何かあるか。

答 災害援助法の適用がないと難しい。

問 農作物被害への対応は。

答 水稲は共済があるが、リンドウなどは救済制度がないので残念な状況だ。

問 生活用水や防災用水としての機能もある農業用水路を早く復旧すべきだ。

答 地域の皆さまと一緒に、早く復旧したい。

問 被災者への市民税などの減免はできないか。

答 固定資産税は家屋崩壊、埋没以外は、ほとんど該当しない。市民税は災害減免制度がなく、必要な場合は条例制定が必要である。

国保特別会計

問 来年4月から実施される後期高齢者医療制度では、75歳以上すべての高齢者が保険料を納めるが、1人当たりいくらになる予定か。

答 11月に決定される見込みである。現時点での全国

反対



高橋 悦郎 議員

18年度決算の市税収入は29億8600万円、前年比1700万円の減少で、11年度の34億7000万円を頂点に減少が続いているほか、実質公債費比率18・5%、経常収支比率91・7%と悪化している。

集中改革プランには、保育所統廃合や各種補助金削減などがあり、市民の負担増が危惧される。

厳しい財政状況打開に無駄遣いは許されず、新庁舎建設は問題だ。市政の原則は協働のまちづくりの精神であり、市民との信頼関係構築である。合併協定項目の再検討と新庁舎建設の見直しを強く求め、庁舎建設基金への積立金を支出した18年度一般会計決算認定に対し、反対討論とする。

討論

反対 賛成

地方自治体を取り巻く環境が厳しい中、18年度決算を見ると、歳入歳出差引額は4億8912万5000円、繰越額の7955万6000円を除く実質収支額は4億956万9000円で、手堅い財政運用と評価する。

18年度実績では、児童手当支給事業の拡大、放課後児童健全育成事業の実施をはじめ、各般にわたり施策が展開された。

今後ますます増大、多様化する住民の要望に的確な対応を求められるが、財政環境、緊急度、重要度などを十分検討し、地域の均衡ある発展や一体感醸成への取り組みなど、市民の負託に応える市政運営を期待し、賛成討論とする。

小野寺 昭一 議員

賛成



請願・発議案 1件は継続審査

9月定例会では、提出された請願5件のうち4件を採択、1件を継続審査としたほか、議員による発議案は7件すべて可決し、国や県などに意見書を提出しました。

◎義務教育費国庫負担制度堅持及び負担割合二分の一復元を求める請願（請願者：県教職員組合岩手支部）

3分の1となった国の負担割合の復元を求めるもの（採択。意見書を国に提出）

◎教育予算の拡充、教職員定数の改善を求める請願（請願者：県教職員組合岩手支部）

30人以下学級の実現などを求めるもの（採択。意見書を国に提出）

◎国民医療を守るための請願（請願者：岩手郡医師会）

国の医療費抑制政策に反対するもの（採択。意見書を国に提出）

◎乳幼児医療費無料制度の創設を求める国への意見書採択に関する請願（請願者：新日本婦人の会岩手県支部ほか）

乳幼児医療費無料制度の創設を求めるもの（採択。意見書を国に提出）

◎飼料価格の高騰による農家負担の軽減と国産飼料の増産、循環型畜産の発展を図る施策を求める請願（請願者：農民運動県連合会）

飼料作物の高騰から畜産経営の保護を求めるもの（継続審査）

◎岩手県後期高齢者医療広域連合規約の改正を求める意見書

全市町村から広域連合議会議員の選出を求めるもの（可決。広域連合に意見書を提出）

◎教科書検定に関する意見書

沖縄戦の事実を正しく伝えることを求めるもの（可決。意見書を国に提出）

◎集中豪雨への対策及び被災者への支援を求める意見書

9月17日発生の大雨災害からの早期復旧を求めるもの（可決。意見書を国・県に提出）

決算特別委員会

病院事業会計

問 市総合発展計画の前期計画の中で、西根病院の移転、新築を検討するとあるが、検討しているのか。

答 西根病院の移転、新築の課題と併せて、病院経営の課題についても話し合う西根病院在り方検討委員会

水道事業会計

問 市水道事業基本計画の中で、西根と松尾の水道を統合するとあるが、需要予測に対する給水能力は。

答 西根、松尾合わせて許可時の配水量は1日1万5

平均保険料は、1人月6200円と示されている。

問 収入が月13万円の母子家庭で、国保税が年20万円かかる。減免制度はないか。

答 現状の税法上ではできない。徴収期間延長や延滞金免除などが考えられる。

問 一般会計から西根病院会計に1億6000万円繰り出しているが、交付税に算定される額。

答 普通交付税に地方債分577万円と病床数分2870万円、特別交付税に不採算地区分5786万円、計9200万円ほどになる。

総括質問

問 新庁舎建設は、検討委

員会で早く青写真を作り、示すべきだと思うが。

答 10月に2回目の庁内検討委員会を予定している。庁外検討委員会の在り方などはこれからである。

問 合併協定項目である総合支所方式は、利用する市民の立場を優先し、実質的に分庁舎方式になった。同じ合併協定項目である新庁舎建設も見直すべきだ。

答 行政組織や機構改革は実施したが、総合支所方式は変えていない。新市事務所の位置については、合併協議会で限りなく議論したものであり、尊重しなければならない。



無形民俗文化財であることを表す長旛旗（写真中央）